



No.	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1	男性ボランティア横山ゼロツウ/テン	くつろぎ亭 横山の運営事業	<p>高齢者の立ち寄り処「くつろぎ亭 横山」事業は、高齢者の憩いの場として、介護予防、ひきこもり防止、安否確認、詐欺被害の防止、さらに利用者合唱団の生きがい施設への訪問等、高齢者相互の見守り合いに取り組むとともに、子どもとの交流も取り入れた地域にとって不可欠なコミュニティの場となっている。</p> <p>特に、最近の少子高齢化社会による地域コミュニティの希薄化、介護要援護者の地域支援が求められる状況下では、当施設の地域における活動の継承は重要を増している。</p>	<p>毎週木曜日開催の、高齢者等の立ち寄り処「くつろぎ亭 横山」を拠点として、ゼロツウ/テン会員と利用者が連携し、見守り合い、合唱団の出張公演、お互い同士の話し込みや子どもとのふれ合い活動等を継承し、地域の見守り状況を把握しながらこの活動を「点」から「線」へ、さらには「面」へと広げていけるよう高齢者相互の見守り・介護予防体制の確立とネットワークづくりを目指す。</p>	<p>① 毎週木曜日開催、高齢者相互の見守り合い・憩いの機会、合唱・麻雀・歌由来話・くねくね体操・お茶飲み事業の実施。</p> <p>② ゼロツウ/テン会員と利用者協力の、合唱団・麻雀、生きがいボランティア出張公演活動事業の実施。</p> <p>③ 週替わり参加者主体の「健康教室」「相模原今昔物語」「脳トレーニング」「折り紙・クラフト教室」「短歌・詩の朗読」「寺院巡り語」「常識学教室」さらに「詐欺防止対応」事業の実施。</p> <p>④ 夏・冬・春休み、祭日の木曜日子どもとのふれ合い事業の実施。</p> <p>⑤ 木曜日(午後3時～6時まで)、地域子ども達の居場所づくり、高齢者との気楽な交流として楽しく学び合う「仮称」子ども学び処の開設。</p> <p>・担い手は、ゼロツウ/テン会員・くつろぎ亭利用者・県立相模原高等学校の生徒と連携し、小学生を対象とした事業実施。小学校・相模原高等学校と相談しながら取り組む。</p>	H29.11.21	492,000	200,000	200,000
2	横山をmapで応援しよう	横山地区子育てmapの作成事業	<p>・横山地区では、災害対策に関する「防災マップ」や、高齢者支援センター発行の「横山便利帳」などがあり、地域住民の利用に供されている。然しながら、他地区にあるような子育てに関するマップが横山地区独自ではない。青少年に関するマップについても、健全育成協議会大判「青少年環境マップ」しかない状況である。そのため、子どもに関する情報、特に「子育てに関する情報」が欲しいという声があがっており、複数の情報を一枚で確認できるマップを作成してほしいという意見がでてきた。又、防犯指導員からは登下校時の交通危険場所等の表示のあるマップがあると良いのではという意見もあった。これらをまとめた子育てマップを作成することとしたもの。</p>	<p>・子育て世代や地域住民が子どもの安全で安心な成長を育むため、子育てに特化したマップを作成する。</p> <p>・地域住民等へのマップの配布により、子育て世代への理解を深め、交流や地域の活性化の実現を目的とする。</p>	<p>① 子どもに関する地域資源(幼稚園、学校、保育園等)の情報を提示</p> <p>② 通学路や近隣の危険場所等の記入で、注意喚起をはかる。</p> <p>③ こども110番等の場所明記して、いざという時こどもが立ち寄れる場所の明示。</p> <p>④ 子育て世代の親に共有できる情報の提供により、子育てしやすい横山地区をアピールする。(公園、病院等)</p> <p>⑤ 事業の実施にあたっては、関係団体や子育て中の方の意見も取り入れ、皆で共有できるものになりたい。</p> <p>⑥ 実際の方法として、歩いて眼でみてマップづくりをしたい。</p> <p>⑦ マップに掲載するイラストを公募により子どもたちに依頼する。</p>	H29.12.20	383,000	383,000	383,000
3	ナイトフェスタin横山実行委員会	ナイトフェスタin横山の運営事業	<p>横山地区の子どもたちが地域への親しみや愛着を深め、大人になってからも郷土として横山へ戻ってきたいとの思いを抱くことは、地域の願いでもある。そのきっかけ作りとした3世代の交流の場の実現が、核家族化や少子化が進み近隣関係が希薄化している現在、地域の課題としてまちづくり会議において協議されてきた。その中で横山小学校の巨大なメタセコイヤの木は子どもたちの活動拠点にある地域のシンボリックな存在であることから、新たな事業の中心とすることで地域の新たな交流の場と意識づけ、これに子どもたちの興味を引くライトアップやプロジェクションマッピングを施せば大勢の子供たちが集まり祖父や祖母また父母も参加した3世代交流が図られる。</p>	<p>プロジェクションマッピングは子ども達の興味をひく事業として大勢の参加が見込まれ、3世代が交流する機会のきっかけづくりとなるとともに、子どもたちにイルミネーションの幻想的な雰囲気を感じてもらい、横山地区の印象を大人になっても持ち続けてもらう。また印刷物の配布と違いプロジェクターのスクリーンによる紹介は公民館活動や自治会活動等の地域活動を印象的でわかりやすく周知でき、自治会未加入世帯など地域活動とは希薄な世帯に対し効果的な啓蒙が図られる。</p>	<p>① 校舎へ「てるてる姫伝説」物語をプロジェクションマッピングで一連の動画状に投影し繰り返し紹介することで地域の伝説として印象が残り横山への郷土意識を高める。</p> <p>② 横山小学校校庭の単独な巨大メタセコイヤをプロジェクターで投影することにより、地域のシンボリックなイメージの意識づけが図られる。</p> <p>③ 地域団体の活動を各ブースごとに地面をスクリーンとしたスライドショーにより団体関係者が紹介し、よりわかりやすく地域活動への啓蒙が図られる。</p> <p>④ 校舎の壁に巨大な蝶や鳩などの影絵を写し、子ども達に実際にやり方を教え影絵写しの遊びを通して、昔ながらの遊びの楽しさを伝える。</p> <p>⑤ 子ども達には参加するだけでなく、子供たち自身が企画したコーナーを設け、事業終了後の達成感を体験してもらう。</p>	H29.12.22	1,050,000	1,050,000	1,050,000

No.	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4	中央区自治連自転車対策会議 (※8地区合同事業)	自転車事故撲滅のための交通安全啓発事業	中央区は、数年に渡って自転車事故多発地域及び高齢者事故多発地域に指定されるなど、交通事故が非常に多い地域である。今年においても昨年を上回るペースで事故が発生しており、早急な対策が必要な状況である。各地区や各団体において、1件でも多く事故を減らすために取り組んでいるところではあるが、活動の範囲は地区内に限定され、広域的な活動はあまりされてこなかった。そこで、この自転車事故対策問題を中央区全体の課題と捉え、広域的な活動を開始することとなった。	中央区全体で自転車利用者に対して標柱幕による交通安全啓発活動に取り組むことにより、自転車事故を撲滅する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事故が発生しやすい交差点等に「自転車も止まれ！」の標柱幕を掲出することにより、自転車利用者への啓発活動を行い、自転車事故撲滅につなげる。 ・標柱幕を設置することにより各地区における交通安全の機運を高め、啓発活動を実施する。 	H30.1.29	2,387,000	2,387,000	2,387,000
							うち横山地区分	うち横山地区分	うち横山地区分
							155,000	155,000	155,000
							2,080,000	1,788,000	1,788,000